

標 題 : Mediterranean Diet, Glucose Homeostasis, and Inflammasome Genetic Variants: The CORDIOPREV Study.
地中海食事、グルコース恒常性、およびインフラソーム遺伝的変異体 :
CORDIOPREV 研究

著 者 : I. Roncero-Ramos, et al. (スペイン コルドバ大学 Reina Sofia 大学病院
Institute Maimonides for Biomedical Research of Cordoba GC9 Nutrigenomics
脂質・動脈硬化科)

掲 載 誌 : Mol. Nutr. Food Res. 2018 May; **62**(9): e1700960

要 旨 :

領 域 : インスリン抵抗性および慢性の軽度炎症は、2型糖尿病の顕著な特徴である。自然免疫の「NOD 様受容体パイリン ドメイン含有-3」(NLRP3) インフラソーム成分は、食事および遺伝的要因によって調節される代謝性ストレスセンサーである。

この研究の目的は、グルコース恒常性に対する 2 種類の食事、地中海および低脂肪の 3 年間摂取の影響を、CORDIOPREV 研究の冠状動脈性心疾患の患者 1002 人で、NLRP3 インフラソームの遺伝的変異体に従って評価することであった。

方法と結果 : 地中海食事と低脂肪食事によるランダム化食事介入、CORDIOPREV 研究の枠組みで、研究を実施した。

インフラソーム NLRP3 に位置する単一ヌクレオチド多型を、OpenArray プラットホームで遺伝子型を同定した。

非糖尿病性の rs4612666 SNP の CT+TT キャリアおよび rs10733113 SNS の AG+AA キャリアは食事介入の 3 年後にインスリン感受性指数を高めたが、糖尿病の患者では影響がみられなかった。

非糖尿病性の rs10733113 AG+AA キャリアでインスリン感受性指数の改善は地中海食事の摂取に特有であると、食事によるさらなる分析で示された。

結 論 : 非 2 型糖尿病患者のグルコース恒常性に関して、地中海食事と関連する効能はインフラソームの遺伝的変異によって決まると、我々の結果が示している。

著作権 2018 年 WILEY-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA、ヴァインハイム

キーワード : CORDIOPREV、地中海食事、NLRP3 インフラソーム、インスリン感受性、単一ヌクレオチド多型
